平成 20 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成 21 年度調査)

後発医薬品の使用状況調査 結果概要(速報)

1. 目的

- ・保険薬局における「後発医薬品への変更不可」とされた処方せんの受付状況等の把握
- ・医療機関における処方せん交付時の状況等の把握
- ・患者における後発医薬品に対する意識等の把握

2. 調査対象

- ・本調査では、「保険薬局調査」「診療所調査」「病院調査」「医師調査」「患者調査」の5つの調査を実施した。各調査の対象は、次のとおりである。
- ・保険薬局調査:全国の保険薬局の中から無作為に抽出した1,000施設。
- ・診療所調査:全国の一般診療所の中から無作為に抽出した 2,000 施設。
- ・病院調査:全国の病院の中から無作為に抽出した1,000施設。
- ・医師調査:上記「病院調査」の対象施設に勤務する、診療科の異なる2名の医師。
- ・患者調査:上記「保険薬局調査」の対象施設に調査日に来局した患者。ただし、1 施設に つき最大4名の患者とした。

3. 調査方法

- ・対象施設・医師・患者が記入する自記式調査票の郵送配布・回収とした。
- ・保険薬局調査については、施設属性、処方せん枚数等を尋ねる「様式1」と、実際に調剤 した薬剤料を尋ねる「様式2」の2種類の調査票を配布した。
- ・診療所調査については、施設の概況や院外処方せんの発行状況、後発医薬品の使用状況 と使用に関する意識、後発医薬品を使用する上での課題等を尋ねる「診療所票」を配布 した。
- ・病院調査については、施設の概況や院外処方せんの発行状況、入院患者に対する後発医薬品の使用状況、後発医薬品を使用する上での課題を尋ねる「病院票」を配布した。
- ・医師調査については、医師に後発医薬品の使用状況と使用に関する意識等を尋ねる「医師票」を配布した。配布に際しては、上記の病院調査の対象施設を通じて行った。
- ・患者調査については、患者に後発医薬品の使用に対する意識等を尋ねる「患者票」を上 記保険薬局調査の対象施設を通じて行った。
- ・医師調査及び患者調査の回収は、各医師及び患者から直接事務局宛の返信用専用封筒に て直接回収した。
- ・調査実施時期は平成21年7月~平成21年8月。

4. 調査項目

区分	主な調査項目
(1)保険薬局調査	○薬局の概要
	· 組織形態、職員数
	・ 調剤基本料の種類、基準調剤加算の有無、後発医薬品調剤体制加算
	の有無、後発医薬品調剤率
	○処方せんの受付状況等(1か月間)
	・ 処方せん発行医療機関数、後発医薬品への変更不可欄に処方医の署
	名等が9割以上ある機関数、先発医薬品・後発医薬品を銘柄指定し
	ている機関数、1か月間に受け付けた処方せん枚数等
	○取り扱い処方せん枚数の内訳(1週間)
	・ 取り扱い処方せん枚数、1品目でも後発医薬品を調剤した処方せん
	枚数、後発医薬品への変更不可欄に処方医の署名等がない処方せん
	枚数等
	・ 後発医薬品への変更不可欄に処方医の署名等がある処方せん枚数、
	処方せん内容の一部について変更不可としている処方せん枚数等
	○後発医薬品への対応状況等
	・ 後発医薬品の調剤に関する考え、後発医薬品の調剤に積極的に取り
	組んでいない場合の理由、後発医薬品の品質保証方法についての認
	知度
	・ 後発医薬品の説明を行った患者の割合、説明をしなかった理由、後
	発医薬品の説明を行った患者のうち後発医薬品の使用を希望しな
	かった患者の割合等
	・ 後発医薬品の説明と一般的服薬指導の合計時間等
	・ 医薬品・後発医薬品の備蓄状況の変化、薬局で取り扱っている後発
	医薬品の採用理由等
	○ジェネリック医薬品希望カードの認知度等
	・ ジェネリック医薬品希望カードの認知度、提示された経験の有無、
	提示されて後発医薬品に変更調剤した患者の割合等
	• 患者が後発医薬品を頼みやすくなるための工夫等
	○後発医薬品使用についての考えや今後の課題等
	・ 後発医薬品使用についての考え
	・ 後発医薬品使用を進めるための課題
	○薬剤料の変化
	・ 処方せんの記載銘柄に基づき調剤した場合の薬剤料及び実際に調
	剤した薬剤料等

(2)病院調查

- ○施設の概要
- ・ 開設者、病院種別、DPC の対応状況、特定入院料の状況、許可病 床数、医師数・薬剤師数
- ・ オーダリングシステムの導入状況
- ・ 1 か月間の外来延べ患者数、1 か月間の外来診療実日数、平均在院 患者数
- ○後発医薬品の備蓄品目数等
- 医薬品備蓄品目数、後発医薬品の備蓄品目数
- ・ 採用医薬品リストの薬剤師会等への提供状況
- ・ 1年前と比較した後発医薬品の供給体制の変化
- ○外来患者に対する後発医薬品の使用状況等
- ・ 院内投薬及び院外処方における後発医薬品の使用状況
- ・ 院外処方せんを発行している診療科、院外処方せん発行枚数、後発 医薬品を銘柄指定した処方せんまたは変更不可欄に署名等をしな かった処方せんの割合等
- ○入院患者に対する後発医薬品の使用状況等
- ・ 入院患者に対する後発医薬品の使用状況、後発医薬品を積極的に使 用しない場合の理由
- 後発医薬品を使用して生じた問題点
- ・ 後発医薬品の使用を進める上で必要な対応等
- ○ジェネリック医薬品希望カード等
- ・ 患者が後発医薬品を頼みやすくなるための工夫等
- ○後発医薬品使用についての課題等
- ・ 後発医薬品の使用についての課題等

(3)医師調査

- ○属性等
- ・ 性別、年齢、担当診療科、1日あたり外来診察患者数
- ○外来患者に対する後発医薬品の使用状況等
- ・ 後発医薬品の処方に関する意識、処方しない場合の理由
- ・ 1年前と比較した後発医薬品の処方状況
- ・ 後発医薬品への変更不可欄に署名した処方せん発行の有無、割合、 その理由等
- ・ 一部の医薬品についてのみ後発医薬品への変更不可と記載した処 方せんの発行経験の有無、理由、その理由
- ・ 後発医薬品に関心のある患者の割合、1年前との比較
- 後発医薬品を銘柄指定した院外処方せん枚数の割合
- ・ 保険薬局で後発医薬品に変更した場合の情報提供の有無、望ましい 情報提供について

- ○ジェネリック医薬品希望カードの認知度等
- ・ ジェネリック医薬品希望カードの認知度、提示された経験の有無、 提示されて後発医薬品を処方した患者の割合等
- ○後発医薬品使用についての考え
- 後発医薬品の承認に関する認知度
- ・ 後発医薬品の処方を進める上で望まれる対応
- ○今後の課題等
- ・ 後発医薬品の使用を進める上での課題 等

(4).診療所調査

- ○回答者の属性等
- 性別、年齢、担当診療科等
- ○施設の概要
- 所在地、開設者、種別、許可病床数、主たる診療科、医師数・薬剤 師数
- ・ オーダリングシステムの導入状況
- ・ 1 か月間の外来延べ患者数、1 か月間の外来診療実日数、平均在院 患者数
- ○後発医薬品の備蓄品目数等
- 医薬品備蓄品目数、後発医薬品の備蓄品目数
- ・ 採用医薬品リストの薬剤師会等への提供状況
- ・ 1年前と比較した後発医薬品の供給体制の変化
- ○外来患者に対する後発医薬品の使用状況等
- ・ 院外処方せん発行の有無
- ・ 後発医薬品の処方に関する意識、処方しない場合の理由
- ・ 1年前と比較した後発医薬品の処方状況
- ・ 後発医薬品への変更不可欄に署名した処方せん発行の有無、割合、 その理由等
- ・ 一部の医薬品についてのみ後発医薬品への変更不可と記載した処 方せんの発行経験の有無、理由、その理由
- ・ 後発医薬品に関心のある患者の割合、1年前との比較
- ・ 後発医薬品を銘柄指定した院外処方せん枚数の割合
- ・ 保険薬局で後発医薬品に変更した場合の情報提供の有無、望ましい 情報提供について
- ○入院患者に対する後発医薬品の使用状況等
- ・ 入院患者に対する後発医薬品の使用状況、後発医薬品を積極的に使 用しない場合の理由
- ・ 後発医薬品を使用して生じた問題点
- ・ 後発医薬品の使用を進める上で必要な対応等

- ○ジェネリック医薬品希望カードの認知度等
- ・ ジェネリック医薬品希望カードの認知度、提示された経験の有無、 提示されて後発医薬品を処方した患者の割合等
- ・ 患者が後発医薬品を頼みやすくなるための工夫
- ○後発医薬品使用についての考え
- 後発医薬品の承認に関する認知度
- ・ 後発医薬品の処方を進める上で望まれる対応
- ○後発医薬品使用についての課題等
- ・ 後発医薬品使用についての課題等

(5)患者調査

- ○属性等
- 性別、年齢
- ・ 診察を受けた診療科、薬局への来局頻度、かかりつけ薬局の有無、 加入している健康保険の種類
- ○後発医薬品の使用に対する意識等
- ・ 後発医薬品の認知度
- ・ 医師や薬剤師からの後発医薬品についての説明の有無
- ・ 後発医薬品処方を申し出た経験の有無、申し出のしやすさ
- ・ 後発医薬品処方の申し出をしやすくするために望まれること
- ・ ジェネリック医薬品希望カードの認知度、保有の有無、入手先、効果、利用経験、利用意向
- ・ 後発医薬品の使用経験の有無
- ・ 後発医薬品に対する満足度、窓口での薬代の負担感
- 後発医薬品の使用意向
- ・ 後発医薬品を使用する上で必要なこと
- ・ 後発医薬品を使用する上での要望等